

6 審議会は、その定めるところにより、部会の決議をもって審議会の決議とすることができる。

第七条 審議会は、委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数の出席がなければ、会議を開き、議決をすることができない。

2 審議会の議事は、出席した委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

3 前二項の規定は、部会に準用する。

中央環境審議会議事運営規則（平成十三年一月十五日中央環境審議会）

第四条 審議会に、次に掲げる十三部会を置く。

一・二 (略)

三 循環型社会計画部会

四 十三 (略)

2 部会の所掌事務は、別表に定めるところによる。

3 (略)

第十条 総会、部会、小委員会及び専門委員会の議事については、会議の概要を記載した会議録を調製しなければならない。

別表

部会名	所掌事務
(略)	(略)
循環型社会計画部会	循環型社会形成推進基本法の規定に基づく循環型社会形成推進基本計画に関すること。
(略)	(略)

循環型社会形成推進基本計画（平成二十年三月二十五日閣議決定）

第六章 計画の効果的実施

第1節 中央環境審議会での進捗状況の評価・点検

循環基本計画の着実な実行を確保するため、毎年、中央環境審議会は、国民各界各層の意見を聴きながら、関係府省の自主的な点検結果を踏まえて、環境基本計画の点検との連携を図りつつ循環基本計画に基づく施策の進捗状況などの点検とともに、毎年度重点的・点検事項を設定し、中央環境審議会において集中的な審議を行い、必要に応じ、その後の政策の方向につき政府に報告します。中央環境審議会の点検結果については、毎年国会に対して報告することとされている年次報告（循環型社会白書）などに反映します。